



人生が100年に延びる現代、住み慣れた地域で自分らしく生きていくためには、地域の人々と顔が見える関係を築き、お互いに支え合うことが大切です。人と人とのつながりは「**地域のお宝**」であり、楽しく生きるための力になります。今回は、毛里田地区で行われた「お宝発表会」の様子を紹介します。

毛里田地区 地域のお宝「ささえあい発表会」



「**地域のお宝**」
「**ささえあい発表会**」
について

発表会は令和8年6月4日に毛里田行政センターで行われました。

住み慣れた地域で、安心して暮らし続けるためには人と人とのつながりや、日常生活の中で何気なく行われているちょっとした支え合い活動が重要です。そのような活動を住民の皆さまに知っていただき、つながりのある地域づくりを進めていくために、発表会を開催しています。

当日は地元の方を中心に、多くの来場者にお越しいただき、盛況のうちに終了することができました。

「お宝事例発表 お宝認定書授与」



毛里田地区のお宝 その①

つながりと健康を育む地域の居場所 「お散歩の会」

コロナ禍で人と人とのつながりが希薄になる中、地域の皆さまの要望を受けて、木村能治さんが立ち上げた会です。

毎日の散歩を通じて交流を深め、日頃からのつながりの中で、お互いを自然に見守り合えるとても素敵な会です。



自助や互助も大切ですが、隣同士で助け合う「近助」が大切です。

登壇してくれた「お散歩の会」の皆さん

地域に響く心のうたごえ 「杜のこだま」

毛里田地区のお宝 その②

「杜のこだま」の皆さんは週に1回練習を行い、月に1度毛里田行政センターで、参加型の「うたごえ」の会を開催しているグループです。

音楽を聴くだけでなく、参加者も一緒に歌えることが魅力で、毎回大勢の方が楽しく参加しています。



登壇してくれた「杜のこだま」の皆さん



地域で活動することは心身の健康や生きがいにもつながります。登壇者が活動内容をいきいきと話す姿に来場者からは「元気をもらえた」「自分も将来は、地域とつながりを持って暮らしたい」といった感想が寄せられました。参加者同士の交流も生まれ、地域の絆を深める貴重な場となりました！

